



柿本あきひろ

市政報告レポート REPORT

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

令和6年の新春をお健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

さて、私は、昨年4月の金沢市議会議員選挙において初めて議席をいただき、

目標とする金沢が一番と思えるまちづくりを目指し、民間企業勤務、

海外経験などを活かし、暮らし、産業、文化、デジタル、

国際化の各分野で取り組みを始めました。

半年あまりの議員ではありますが、皆様との会話、コミュニケーションを通じて、

市政の課題をしっかりとらえ、執行部、議会や関連のご協力を得つつ、

市民の福祉向上、本市の持続的な発展にむけ、全力で取り組んでおります。

今回、昨年後半部分の活動まとめました

『柿本あきひろ市政報告レポート』の第二号を発行いたします。

日頃の活動をご覧ください、ご意見やご提案がございましたら、

どうぞお気軽にお知らせください。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻、どうぞよろしくお願いいたします。



初春

金沢市議会議員

柿本 章博

各種 SNS などでも最新の情報を発信しております。



インスタグラム



フェイスブック



エックス
(旧ツイッター)



公式ライン



ホームページの内容を拡充しました。
<https://kakimotoakihiro.com/>

柿本あきひろ Profile

1967年 金沢市生まれ、諸江町小、浅野川中、金沢泉丘高、東北大卒業、東北大院修了

1992年 (株)PFU入社(7年間の米国駐在)、2023年 (株)PFU退社、金沢市議会議員選挙で初当選

経済環境常任委員 地域交通特別委員 自由民主党金沢市議員会所属(事務局次長)

柿本あきひろ
市政報告レポート **REPORT**

発行者 柿本あきひろ事務所
〒920-0015 金沢市諸江町上丁206-9
TEL(076)201-8884 FAX(076)201-8682

事務所公式キャラクター
かっきー君





9/13 9月定例会で一般質問に立たせていただきました。質疑の内容は以下の通りです。

金沢スタジアム関連整備について

Q1 公共交通機関を利用する場合、スタジアムへのルートは大きく3つが考えられる。

1. 金沢駅などから臨時のシャトルバス
 2. 北陸鉄道浅野川線 磯部駅下車で徒歩
 3. IRいしかわ鉄道 東金沢駅下車で徒歩
- 各々の想定利用者数を聞く。

A1 スタジアムでの大規模イベントの際には、金沢駅からシャトルバスの運行を軸に来場者の分散化を図るべく、主催者側と協議をしている。北陸鉄道浅野川線及びIRいしかわ鉄道の利用については、一定程度利用が見込まれるが、シャトルバスの運行本数や運行間隔を工夫するとともに、市及び主催者側によるSNS等を活用したPRを徹底することで、その利用を促し、スタジアム周辺の混雑緩和に努めたい。(東文化スポーツ局長)

Q2 北陸鉄道浅野川線磯部駅下車で徒歩のルートは、高低差・段差あり、幅が狭い、歩道の中に電柱があるなど、アクセスルートの歩道としては不適切である。歩道の拡幅、整備など歩行環境の向上が急務と考えるが、見解を問う。

A2 現況の交通環境に大きな影響を与えることがないように、シャトルバスの運行軸に現在、主催者側と協議を行っているところである。今後、大規模イベントが開催された際の車両や歩行者の通行状況等を注視した上で、今後の方策について判断していきたい。(坪田都市整備局長)

Q3 試合前後に、スタジアム周辺住宅地内の道路や路地が抜け道にならないかなど、交通安全に対して不安視する声も多数あがっている。その対応を聞く。

A3 Jリーグ公式戦などの大会開催時には大会主催者が、金沢スタジアムの車両入退場ルートを事前に来場者へ広く周知啓発を図ることとしている。また、スタ

ジアム周辺道路では、車両誘導看板の設置とともに、駐車場への案内や違法駐車への注意喚起のための警備員を配置して、来場者が住宅地へ流入しないよう誘導するとともに、歩行者の安全対策についても責任を持って行うよう、指定管理者やクラブチームと連携しながら指導を徹底していく。(東文化スポーツ局長)

Q4 試合開催時、近隣住民への騒音対策を聞く。

A4 現在、ツエーゲン金沢のJリーグ公式戦において、サポーターの大きな声援とともに観客から大きな歓声上がる場面があることは、認識している。応援による騒音について、状況を注視していくとともに、ナイトゲームで21時を過ぎる場合には、鳴り物による応援は禁止するなどの措置をとるように大会主催者への指導を徹底していく。(村山市長)



金沢市デジタル戦略について

Q5 先日リリースした地域課題解決の共創プラットフォーム「マッチ箱」は、参加者不足が否めず、ディスカッションもうまく進んでいない。今後の活用、推進策を聞く。

A5 地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」につきましては、本年5月から7月までの施行期間を経て、7月24日より運用を開始した。課題の解決だけでは

なく、地域課題の可視化による新たな活動やつながりの創出など、解決に向けた過程も大切だと考えている。運用開始から間もないこともあり、登録者数をいかに増やしていくかが課題であると認識している。今後、**市民団体や大学等の協力、またイベントなど様々な機会を通じて、さらなる事業の周知と活用**に努めていく。(神谷市民局長)

Q6 マイナンバーカードを活用したスマートサービスが計画中等であるが、具体的なサービス内容やその検討状況を聞く。

A6 金沢スマートサービス基盤構築事業は、マイナンバーカードの本人認証基盤を活用したサービスとして、**市が発行するカード類をスマートフォンに集約するほか、紙で行ってきたポイント事業をスマートフォンによりポイントを付与することを想定している**。現在、県でも、同様に本人認証機能を活用し、行政サービスや地域の各種サービス提供を行う基盤システムとして「**石川県広域データ連携基盤**」を構築中であり、市民の利便性を高める観点から、**アプリの連携や共通化なども視野に県**の状況を注視している。(川端総務局長)

Q7 本市の行政デジタルサービスのポータル(入口)戦略や方向性について、市長の見解を問う。

A7 公式アプリや公式ラインのほか、子育て、まちなり、ごみ分別などについてアプリを導入しているが、こうした個別のアプリを集約し、**一元的に網羅して配信するポータルアプリ等の取り組みは、市民の利便性構造の観点から有用なものと考えている**。マイナンバーカードの本人確認、本人認証機能基盤を活用し、また、スマートフォンを用いて行うスマートサービスの基盤を現在構築しているところである。**こうした仕組みなども含めて、費用対効果も見極めつつ、今後の方策を検討していく**。(村山市長)

インバウンド観光客対応について

Q8 インバウンド観光客の飲食店におけるコミュニケーション改善に向けた施策を問う。

A8 インバウンド観光の受入に関しては、日本の文化習慣の理解の促進や、相互の円滑なコミュニケーションが大切である。**これまでも外国人向けのマナー動画やパンフレットを作成するなど、啓発に取り組んできた**。インバウンドも回復傾向にあるとともに、来年3月には北陸新幹線の金沢敦賀間の開業も控えており、**改めて様々な機会やツールを活用して、外国人向けのマナー啓発や金沢の食文化や習慣についての発信に努めていく**。私も海外旅行した際は、拙い現地語の理解力のもとに、どんな料理が来るのかなと思いつつ、結局思ったものと違うものが来て、それでもそれが楽しい思い出になったということもありました。最近では、文字を言語化し、母国語化して読むことができるというアプリもあります。**提案のミールクーポンについては、既に金沢市観光協会が「グルメチケット金沢美味」を販売しているが、英語が対応可能な店舗も少ない状況であり、観光業界と連携して、店舗数やメニューの拡充にも取り組んでいく**。(村山市長)

金沢マラソン オンライン大会について

Q9 年々申込者数が減少している傾向にある。申込者数増加に向けた対応を問う。

A9 金沢マラソンのオンライン大会は、**初心者でも取り組みやすく、時間と場所を選ばないということから、ランニング人口の裾野の拡大や市民の健康増進にもつながるといふこと、また、オンライン参加者がTシャツを着て市内を走るということ**で、金沢マラソン本番の機運醸成にも寄与していると考えている。申込者数、応募者数は減少しているが、一定程度の数は申込みいただいているという現状である。一方で、オンライン大会の参加者は減少傾向にあるということ、**今年度の実施状況やランナーの意見も踏まえた上で、第10回目となる来年の大会の企画を検討する中で、オンライン大会のあり方についても考えていく**。(村山市長)

今年も金沢マラソンを完走いたしました。▶



高温対策について

Q10 融雪装置の打ち水利用を本市でも過去に社会実験した経緯がある。また、他都市でも実施の事例がある。高温対策、また、観光PRやイベント用として再度実施する考えはないか問う。

A10 市道の融雪装置は冬季間における雪対策として利用を前提している。地下水の使用による環境への影響や電気料金のプラン変更、設備の事前点検、通行車利用による水はねなど多くの課題がある。また、今年のようにダム貯水量の低下や農作物の水不足といった状況で行うということも課題の一つになる。これらのことから、今のところ夏場における融雪装置の散水は難しいと考えている。(坂本土木局長)

融雪装置の利用については、副市長時代に考え、提案したことがあった。一方で、市内全域での地下水利用、そして、市内全域で与える環境についても考慮する必要がある。どのようなことができるかは、今後の研究課題としたい。(村山市長)



9月定例会議 概要

9月1日から15日まで15日間開催。一般質問は25名が登壇。総額25億3890万3千円の補正予算など議案、請願などを可決、採択。

● 石川県民スポーツ大会 金沢市選手団結団壮行式(8.1)



- 全州市議会訪問代表団 歓迎式典(8.7)
- 全日本高校生WASHOKUグランプリ 決勝大会(8.8)
- LGBT理解増進法の勉強会/公共交通経営者円卓会議(8.10)
- 金沢市美術工芸大学 竣工式(8.20)
- 諸江地区 町会長会議(8.22)
- 金沢スタジアム 建設現場見学会(8.24)
- まちづくりミーティング(8.26)
- 金沢市スポーツ協会 常任理事会(9.7)
- 第5次安原異業種工業団地 竣工式(9.20)
- 金沢ふるさと偉人館開館30周年記念講演会(9.23)
- 川北地区への金沢スタジアム説明会(10.2)
- 金沢市農林漁業功績賞と金沢市経済活動賞の贈呈式(10.10)
- 富山市、高岡市LRT視察(10.12)
- 金沢武士団 金沢大会開幕戦(10.14)
- 諸江校下タウンミーティング(10.15)



● 宇都宮市LRT視察(10.16)



● 金沢国際交流まつり/ KOUGEIフェスタ/金沢食文化フェスタ(10.21)

● 金沢農業まつり(10.22)



- 金沢市の菓子名工賞・料理名工賞・バーテンダー名工賞 表彰式(10.22)
- 福岡市、全国市議会議長会研究フォーラム/
ゼンリンミュージアム視察(10.24-25)
- 地域交通委員会行政視察(豊島区、松本市)(10.30-31)
- 金沢市立諸江児童館一周年記念式典(11.11)
- 第51回鏡花文学賞授賞式(11.11)
- 金沢スタジアム視察(11.20)
- 金沢開発協議会 知事要望提出(11.21)

所属委員会の活動状況

経済環境常任委員会

開催日	主な事項
8.21	・令和5年7月の大雨に係る農業被害 ・金沢市野生小動物捕獲器貸出制度の開始
9.14	・北陸新幹線金沢 敦賀間開業に向けた機運醸成 ・「第7回食品ロス削減全国大会in 金沢」の開催
10.11	・金沢かがやきブランド認定製品の決定 ・クマによる人身被害の発生
11.6	・冬の誘客推進事業 ・金沢市ごみ処理基本計画(第7期)の骨子

地域交通特別委員会

開催日	主な事項
8.29	北陸鉄道(株)様を参考人招致し意見徴収、 およびテーマの決定 報道映像▶ (1:49あたりに私の質問の様子あり)
10.6	(一財)計量計画研究所を参考人招致し意見徴収
11.10	提言書審議
11.27	提言書承認 報道記事▶

企業会計等決算審査特別委員会

開催日	主な事項
10.6	執行部説明(公営企業管理者所管)
10.27	執行部説明(市立病院、中央/花き市場)
11.13	書面審査
11.22	視察(城北水質管理センター)
11.30	総括質疑、討論、採決